

オオイタサンショウウオ

Hynobius dunni

サンショウウオ目 サンショウウオ科

カテゴリー

大分県 Ⅱ

環境庁 Ⅱ



標高10mから800mの池沼や水田などの止水域に生息する。成体の体長は10～18cm、体色は黄褐色から暗褐色。12月中旬から4月にかけて、水たまりに産卵し、幼生は水生動物を食べたり、共食いをしたりして、8～9月に、変態して陸上で生活する。小型サンショウウオ類の中では分布域が狭く、本県がおもな生息地となっており、本種の標準産地は、佐伯市城山の雄池・雌池とその周辺である。都市部やその周辺では、土地開発や休耕田の増加などにより、消滅する生息地が多くなっている。

(写真：佐藤真一 文：堀江道廣)

県内分布 宇佐市，宇佐郡，豊後高田市，西国東郡，東国東郡，杵築市，速見郡，別府市，大分市，大分郡，北海部郡，臼杵市，津久見市，佐伯市，南海部郡，竹田市，大野郡，直入郡

分布域 四国（土佐清水市），九州（熊本・大分・宮崎）